

明治3年 日本初 技術学校「覺舎」の設立



明治3年横須賀製鉄所は新設の技術学校を覺舎設立。

(覺舎とは覺(まなびや)すなわち学校の意味)

当初は製鉄所雇のフランス人の余暇をもってフランス語、算術、図学を学習したにすぎなかった。

覺舎卒業生の状況

●明治3年横須賀製鉄所は新設の技術学校を覺舎設立。

(覺舎とは覺(まなびや)すなわち学校の意味)

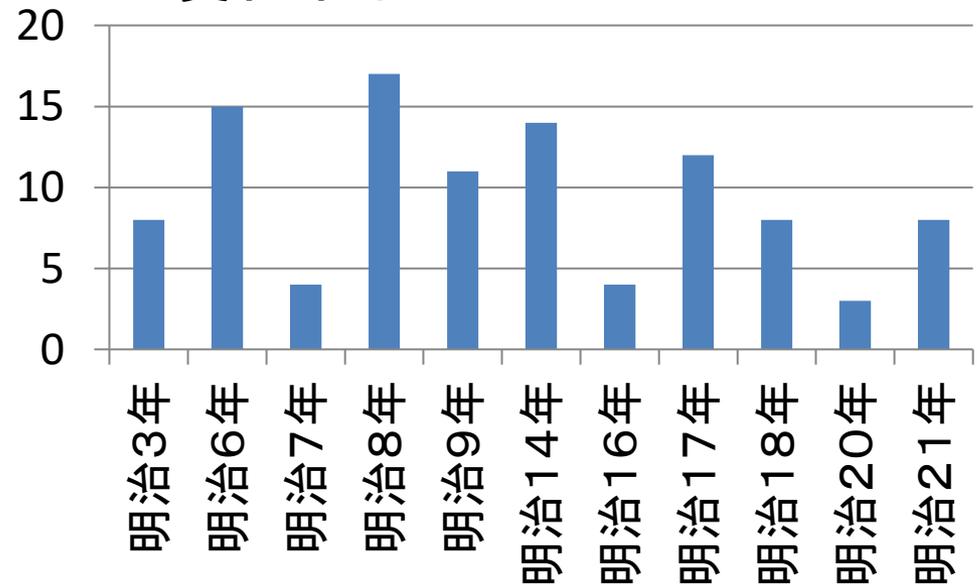
当初は製鉄所雇のフランス人の余暇をもってフランス語、算術、図学を学習したにすぎなかった。

●明治9年の教科内容「幾何学・微分積分、製図、造船、蒸気機械、砲術等」17科目、履修期間は3年であった。

●明治15年以降造船官は東大の前身である工部大学校に吸収

●明治21年その役目を海軍造船工学校に引き継ぐ。

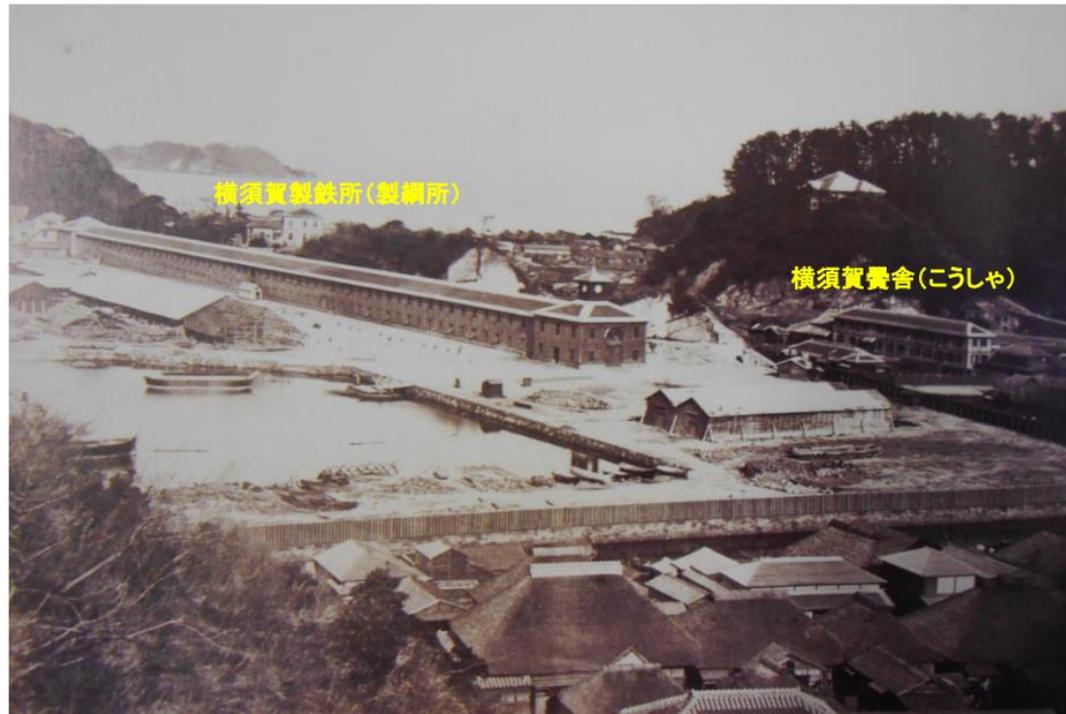
覺舎卒業生(合計104名)



初期の覺舎は製鉄所正門付近（現在の米海軍正門付近）にあった、その後現在の芸術劇場あたりに移転したと思われる。



初期の覺舎 教会が使われた



黌舎におけるカリキュラムです。 まさに今の理系大学教育そのものでした。

予科

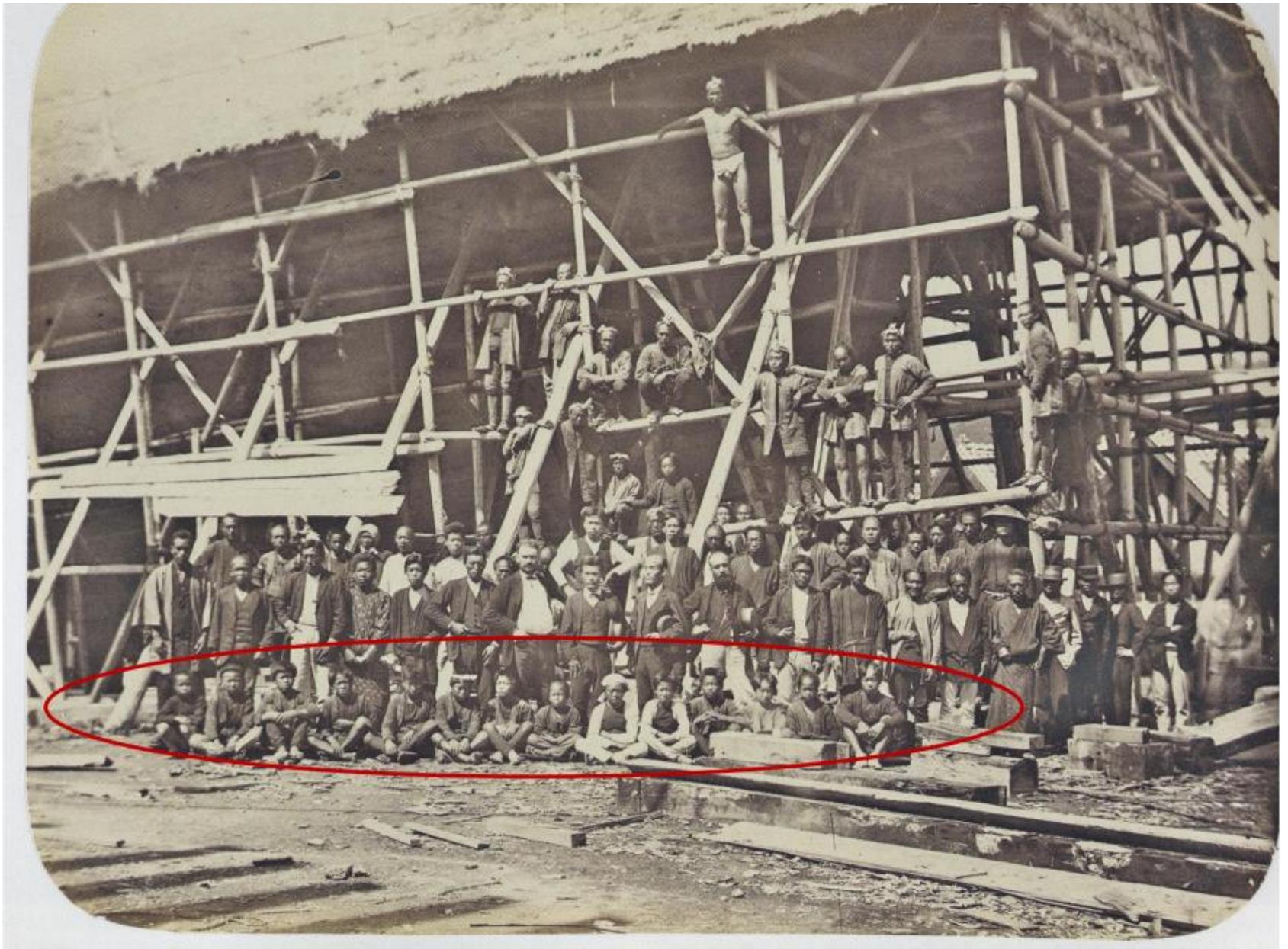
- ・語学(仏語、和漢学、翻訳学)
- ・数学(代数、幾何、算学、三角術)
- ・地理学(万国、日本)
- ・物理学
- ・化学
- ・図学
- ・造船学
- ・機械学

本科

- ・数学(幾何、微積分)
- ・製図
- ・物理学(推理重学)
- ・材料学(物質組成学、物品抗耐学)
- ・土木工学(築造学)
- ・造船学(造船学、造船実訣、造船実考課)
- ・機械工学(蒸気機械学、蒸気機械考課)
- ・艦砲学
- ・博物学
- ・工場執業

横須賀黌舎(こうしゃ)

10歳代前半から見習いで働き始め、覺舎受験資格を得た



建造中の船の前に並ぶフランス人、および日本人従業員 (GB) 1873年頃

「饗舎」での造船官はその後東京帝国大学工学部へ 造船工は工機学校(横須賀)へと受け継がれていきます。



東京大学工学部正門

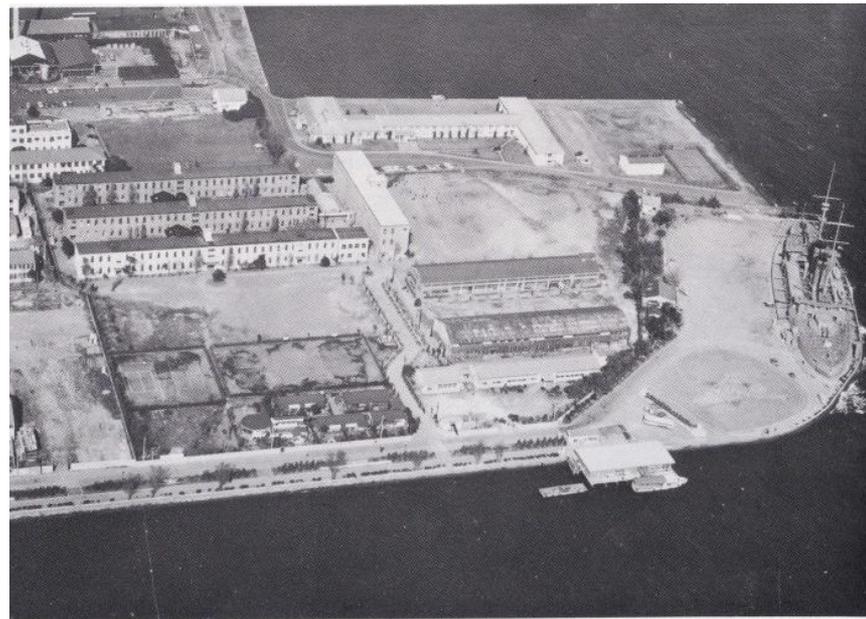
1886年～
(明治19年)

東京帝国大学(明治33年)
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/7628>



東京帝国大学工学部

工機学校校舎と記念艦三笠



昭和20年8月横須賀海軍工機学校々舎と記念艦三笠